

# 施政方針並びに 提出説明要旨



知夫村長  
平木 伴佳

## 令和8年度当初予算案における 予算編成並びに事業方針

村民の皆様方が「安心して心豊かに暮らせる島づくり」と、次の世代へ「胸を張ってバトンを渡せる村づくり」を実現するために必要な産業・医療・福祉・教育の充実のもとより、定住対策事業や各種インフラ整備に取り組み、島民の生活環境の向上を目指すと共に、島の活力醸成を求めて厳しい財政状況のなかではございますが、予算編成にあたったところでございます。

### ① 村道長尾線落石防止対策工事について

昨年度から着手しております村道長尾線は、令和8年度も調査結果に基づいて決定した優先度の高い順から着手することとしておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

### ② 子育て世帯への支援について

国・県の交付金のほか「ふるさと納税」を活用して放課後児童の見守りや保護者を中心に活動している「おちらと」への活動支援を引き続き実施するほか、令和8年度は活動の充実を図っていただく為に集落支援員を配置する予定であります。

### ③ 地場産業の振興について

畜産業においては、中牧の草地整備や西牧の防護柵改修等に着手し放牧場内の基盤整備を図ると共に、村有牛の貸付や出荷牛の輸送費補助等を引き続き実施する所存であります。また、島外から移入する粗飼料等についても有人国境離島特措法を活用した輸送費助成を継続することとしております。

水産業につきましては、魚介類の輸送費コストに對する助成などにより漁業従事者の負担軽減を図るほか、有人国境離島特措法による交付金制度や離島漁業再生支援交付金を活用した漁業従事者自らによる活動への支援を継続します。また、パンの製造・

販売等に引き続き、経産牛肉の販売等に取り組み方々が現れたことは、資源の乏しい本村にとって明るい話題だと思っております。

村と致しましては、そうした積極的に製造・販売等に取り組み、知夫村の新たな特産品開発に尽力される皆様方に対しては可能な限り支援したいと考えております。

観光につきましては、有人国境離島特別措置法を活用して島民の隠岐本土間の海上交通に係る経済的負担の軽減を図るため、隠岐汽船の運賃低廉化を引き続き実施してまいります。また、滞在型観光への移行による交流・滞在人口の拡大を目指し取り組んできたシーカヤック等の体験型観光メニューは、既に今年も多くの予約が入っているように聞いておりますので、更なる観光振興を目指して情報発信の強化等に取り組む所存であります。

なお、有人国境離島特措法は、令和8年度末を期限とする時限立法でございますので、国に対して、本法の継続・延長に向けた要望活動を全国の離島関係者と共に実施することとしておりますので申し添えます。

### ④ 定住対策事業について

現在も地域おこし協力隊や集落支援員制度を活用して産業振興や福祉・教育などの充実に取り組んでいるところでございますが、まだまだ人手が足りないのが現状でございます。そうした人手不足を解消するためにも欠かせないのが、生活の拠点となる住

宅の確保でございますが、本村は慢性的な住宅不足となっている状況であります。

その上、仁夫地区の村営住宅が築後50年を迎えており、現在入居されている方々の移転先となる住宅の確保も急務となっておりますので、財政状況が厳しい中ではありますが、新規の住宅確保に取り組みたいと思っておりますので、ご理解いただければと思います。

また、本村への移住・Uターンを希望されている方も、ある程度、おられると聞いておりますので、今後も住宅建設や空家の改修を引き続き実施するなど住宅確保に努める所存でありますので、何か良い情報等がございましたらご一報いただきますようご協力の程よろしくお願いいたします。

## ⑤ 保健・医療・福祉の充実について

ちぶり保育園が、この4月より新たな保育士が配置できる予定となり安堵しているところでございます。

知夫村の将来を支える大切なお子様をお預かりすることから、引き続き安全面への配慮を十分に図りながら関係者一同、力を合わせ、村民の皆様方に愛される保育園を目指して精一杯運営に努めるつもりでございますのでよろしくお願い致します。

高齢者サービス及び介護事業につきましては、招福苑や社協、役場が連携を取りながら、生活支援・介護予防サービス事業の充実に努めて参ります。また、ヨガ教室等、村民の皆様方が健康に生活してい

ただくための健康増進事業やがん健診・予防接種などの各種健診事業も引続き実施してまいります。

最後に、令和7年度に続き、この4月から保健師を志す職員1名を採用できましたので、今まで以上に健康増進・維持に関する事業の充実が図れるものと思っております。

## ⑥ 教育の振興について

「600人の家族と暮らす島留学」をモットーに取り組んでまいりました小中学生の島留学事業は、様々な問題や課題と向かい合いながら今日に至っているところでございます。

令和8年度の入入れ状況でございますが、令和8年度は新たに3名を受け入れ、継続される留学生4名と併せて計7名の留学生が知夫村で生活することになっておりますので、温かく見守っていただければと思います。

村と致しましては、この島留学制度の維持・継続を図るため留学生が安心して生活できる環境づくりと「はぐくみ寮」の安定運営を目指した体制づくりに努める所存であります。

また、小学部1・2年生の複式学級が、この4月から単式学級に戻るようでございます。このことは、島に子供たちが増えたことを意味すると共に、島に賑わいと活力を与える喜ばしい出来事でございますので、お伝えさせていただきます。

## ⑦ 環境整備等について

「村内公共交通網の整備」でございます。

令和8年度も一般社団法人ぐるーり知夫里島に村内巡回バス等の運行を委託致しました。利用される方々の足として更なる利便性の向上を目指すと共に、安全運行に努める所存であります。

次に、「道路等のインフラ整備について」でございます。

村道仁夫線の道路改良工事は、予算の関係上、工事自体がなかなか前に進めていない状況で大変ご迷惑をお掛けしております。

令和8年度についても、予算の範囲内での実施ということとしておりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

他にも、各地区から要望があった工事をはじめ、西山線防護柵修繕工事、松養寺遊歩道改良工事、小原橋補修工事、下水道施設の機能保全工事などに取り組みこととしております。

安全面等、十分に注意して工事を進めてまいります存でございます。ご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

## ⑧ 財政運営の健全化について

令和8年度も基金を取り崩しての予算編成にあたることを余儀なくされております。

これは、令和7年度に実施された国勢調査結果に

基づき算定される普通交付税額が、人口減により大幅減となる見込みであることを想定しての予算編成であったため、各事業の大幅見直しによる財政出動の大幅削減を図ったところでございますが、結果的には基金取り崩しを余儀なくされたところでございます。

また、経常収支比率が90%台であることに加え、人件費や委託料、負担金、公債費など削減が難しい項目の割合が高騰し続けている現状から考えますと、

村内の各種インフラ施設の整備・維持を着実に進めて村民の皆様方の生活環境を守ってゆくためには、公共料金の見直し等に着手せざるを得ない時期に差しかかっているものと考えております。

村と致しましては、そういった点にも十分に配慮した上で、常に財政状況を注視すると共に事業の緊急・必要性を見極めながら、地域活性化と住民福祉向上とのバランスを考えた事業執行に努める所存であります。



# 議会だより

## 3月定例会概要

### 一般質問

山本 英樹 議員

### Q1 交通安全対策について

昨年、隠岐島警察署管内における交通事故件数は、物損408件、人身11件ののぼり、特に3月、8月の繁忙期に集中しています。本村においても物

損事故が発生しており、特に観光客における不慣れた道路状況での事故防止は緊急の課題となっています。とりわけ、高齢化が進む生活道路の安全確保、狭隘で急勾配な本村特有の道路環境への対策が求められています。物理的対策として、停止線や路面標識の刷新、カーブミラーの増設やデジタル連携対策として、カーナビやスマホアプリとの連携した「情報の棲み分け」を意識

した正確な道路情報提供を行うべきと考えます。安心、安全に通行できる交通安全対策について、村長の所見を伺います。

### 村長

本村の道路は、地形的特性から見通しの悪いカーブや車輛のすれ違いが難しい区間が多く存在しております。道路に不慣れた観光客や村内高齢ドライバーの運転を考えますと、生活道路の安全確保は常に考えて対処するべき課題であると認識しております。

まず、経年劣化が進んでいる停止線

や路面標示につきましては、視認性向上の観点からも再塗装等の対策を講じる必要があると考えます。

また、カーブミラーの増設や角度調整、減速を促す路面表示の強化等による事故抑止対策も必要と考えます。

現在、役場等による通学路等危険箇所点検などを年1回実施して現状把握に努めておりますので、それ等をもとに優先順位を明確にしたうえで、国・県の補助制度も活用しながら段階的かつ計画的に整備を進める所存であります。

次に、デジタル技術を活用した対策